



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 丸運

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 住吉 彰

TEL 03-6861-3411

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 11,750 | △0.3 | 83 | △62.4 | 106 | △57.7 | 7 | △96.4 |
| 24年3月期第1四半期 | 11,790 | △2.2 | 221 | △20.8 | 251 | △14.9 | 197 | 11.5 |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △175百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 202百万円 (46.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 0.25 | — |
| 24年3月期第1四半期 | 6.82 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 39,351 | 18,858 | 47.4 | 645.71 |
| 24年3月期 | 41,071 | 19,149 | 46.1 | 655.52 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 18,657百万円 24年3月期 18,940百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 3.00 | — | 4.00 | 7.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 23,900 | 0.5 | 300 | △31.6 | 330 | △32.9 | 100 | △67.6 | 3.46 |
| 通期 | 49,400 | 0.2 | 930 | 2.7 | 980 | 2.5 | 450 | △23.3 | 15.57 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 25年3月期1Q | 28,965,449 株 | 24年3月期 | 28,965,449 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 25年3月期1Q | 71,542 株 | 24年3月期 | 71,542 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 25年3月期1Q | 28,893,907 株 | 24年3月期1Q | 28,894,752 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、復興需要の本格化や個人消費や設備投資に緩やかな持ち直しの動きが見られ、欧州の債務危機を背景とした世界経済の減速や長引く円高・株安の進行等の下振れリスクも残っており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

陸運業界においては、国内貨物輸送量が、生産等の回復や前年度における大幅減の反動などを受けて、前年を若干上回ることが予想されるものの、国際貨物輸送は、円高の影響や震災後の生産拠点の海外シフトの進行により輸出が伸び悩むものとみられており、同業者間競争や荷主による運賃値下げ圧力等、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは、既存事業においては、提案型営業開発に注力するとともに、安全面・コスト面などグループの総合的な競争力を強化して荷主の信頼を勝ち取り、新規貨物獲得のため総力を挙げて取り組みました。また、将来の柱とすべく前期に営業を開始した食品物流事業及び中国における実運送事業を軌道に乗せることに注力いたしました。

これらの結果、営業収益は、液体輸送の取扱量の減少や運賃単価下落はあったものの貨物輸送の増収により、117億500万円とほぼ前期並みとなりました。経常利益は、自車の効率的な配車や固定費の削減に努めましたが、前期に営業を開始した食品物流合弁会社の利益が当初の計画を若干下回ったことや、液体輸送において上記理由による減収が大きく響いたこと等により、前期に比べ57.7%減益の1億600万円となりました。また、当四半期純利益は、前期において計上した収用補償金等の特別利益が無かったこともあり、前期に比べ96.4%減益の700万円となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

貨物輸送

当部門においては、生産関連貨物が前年における大幅減の反動から持ち直しが一部に見られたことや、昨年下半年より取り組みを開始した主要顧客の潤滑油製品輸送の元請化や食品物流事業が当四半期に全面的寄与したことにより取扱量は増加しました。

また、鉄道利用は自然障害等の輸送障害の影響から主要顧客を失注するなど取扱量は減少しました。

この結果、営業収益は前年同四半期に比べ5.7%の増収となりました。

液体輸送

当部門においては、化成品及びガソリン等石油製品の輸送量は、原油価格高騰による製品価格の上昇やエネルギー転換の進展等による需要減退の影響を受けて減少しました。

この結果、営業収益は前年同四半期に比べ9.3%の減収となりました。

国際物流

当部門においては、円高、中東情勢不安、ユーロ圏における財政不安、中国の景気低迷など国際物流を取り巻く環境は非常に厳しいものとなりましたが、既存及び新規顧客の営業強化を行い、中国の現地法人の収益は増加しました。

この結果、営業収益は前年同四半期に比べ4.9%の減収となりました。

当四半期のセグメント別の営業収益は次のとおりです。

| セグメント | 営業収益(百万円) | 前年同期比(%) |
|-------|-----------|----------|
| 貨物輸送 | 6,976 | 105.7 |
| 液体輸送 | 3,517 | 90.7 |
| 国際物流 | 1,202 | 95.1 |
| その他 | 53 | 113.1 |
| 合計 | 11,750 | 99.7 |

(注) 1. その他の事業はビル賃貸、保険代理店等であります。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は393億51百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ17億19百万円減少しました。

このうち、流動資産は93億41百万円となり、19億78百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未収入金の減少7億34百万円、現金及び預金の減少8億1百万円及び償還による有価証券の減少4億99百万円であります。また、固定資産は299億68百万円となり、2億63百万円増加しました。この主な要因は、有形固定資産の増加4億76百万円及び投資有価証券の時価評価等による減少2億77百万円によるものであります。

当第1四半期末の負債合計は204億93百万円となり、前期末に比べ14億28百万円減少しました。

このうち、流動負債は114億66百万円となり、10億47百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未払金の減少5億54百万円、納税による未払法人税等の減少5億82百万円であります。

純資産合計は188億58百万円となり、前期末に比べ2億91百万円減少しました。この主な要因は、株主配当による利益剰余金の減少1億15百万円及び投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の減少1億75百万円であります。この結果、自己資本比率は前期末の46.1%から47.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、欧州の財政不安等による世界的な景気の停滞、長期化する円高等により、先行きの不透明感が続くものと思われませんが、当グループの第1四半期の業績は概ね当初計画に沿って進捗しており、第2四半期累計期間及び通期の業績については、現時点では、平成24年5月11日に公表した予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,340 | 2,539 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 6,689 | 6,004 |
| 有価証券 | 530 | 30 |
| 原材料及び貯蔵品 | 43 | 39 |
| その他 | 727 | 733 |
| 貸倒引当金 | △10 | △5 |
| 流動資産合計 | 11,320 | 9,341 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,044 | 5,962 |
| 土地 | 18,329 | 18,305 |
| その他（純額） | 2,349 | 2,932 |
| 有形固定資産合計 | 26,723 | 27,200 |
| 無形固定資産 | 168 | 159 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,097 | 1,820 |
| その他 | 834 | 906 |
| 貸倒引当金 | △119 | △118 |
| 投資その他の資産合計 | 2,813 | 2,608 |
| 固定資産合計 | 29,705 | 29,968 |
| 繰延資産 | 45 | 40 |
| 資産合計 | 41,071 | 39,351 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 4,289 | 3,735 |
| 短期借入金 | 4,814 | 4,927 |
| 未払法人税等 | 609 | 26 |
| 賞与引当金 | 582 | 284 |
| 災害損失引当金 | 0 | 0 |
| その他 | 2,217 | 2,491 |
| 流動負債合計 | 12,514 | 11,466 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,002 | 3,668 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,393 | 2,390 |
| 退職給付引当金 | 2,130 | 2,134 |
| 役員退職慰労引当金 | 59 | 49 |
| その他 | 821 | 783 |
| 固定負債合計 | 9,407 | 9,026 |
| 負債合計 | 21,921 | 20,493 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,559 | 3,559 |
| 資本剰余金 | 3,077 | 3,077 |
| 利益剰余金 | 9,674 | 9,571 |
| 自己株式 | △20 | △20 |
| 株主資本合計 | 16,291 | 16,188 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 420 | 245 |
| 土地再評価差額金 | 2,228 | 2,223 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,649 | 2,468 |
| 少数株主持分 | 208 | 201 |
| 純資産合計 | 19,149 | 18,858 |
| 負債純資産合計 | 41,071 | 39,351 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 営業収益 | 11,790 | 11,750 |
| 営業原価 | 10,988 | 11,083 |
| 営業総利益 | 802 | 666 |
| 販売費及び一般管理費 | 580 | 583 |
| 営業利益 | 221 | 83 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 28 | 27 |
| その他 | 30 | 24 |
| 営業外収益合計 | 59 | 52 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25 | 20 |
| その他 | 3 | 8 |
| 営業外費用合計 | 29 | 29 |
| 経常利益 | 251 | 106 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 17 | 13 |
| 収用補償金 | 53 | — |
| 退職給付制度改定益 | 22 | — |
| 特別利益合計 | 92 | 13 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1 | 3 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1 | — |
| ゴルフ会員権評価損 | 8 | — |
| ゴルフ会員権売却損 | 6 | — |
| 減損損失 | 5 | 11 |
| 災害による損失 | 6 | — |
| その他 | — | 2 |
| 特別損失合計 | 29 | 17 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 314 | 102 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21 | 18 |
| 法人税等調整額 | 99 | 83 |
| 法人税等合計 | 120 | 102 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 193 | △0 |
| 少数株主損失(△) | △3 | △7 |
| 四半期純利益 | 197 | 7 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 193 | △0 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8 | △175 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | — |
| その他の包括利益合計 | 8 | △175 |
| 四半期包括利益 | 202 | △175 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 205 | △167 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △3 | △7 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。